

# 令和6年度 シラバス 【公共】

## 11 新潟県立新潟翠江高等学校（通信制課程）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
必履修	2	6	2	2
<b>教科書</b>		<b>学習書・その他教材</b>		
公共(東京書籍)		学習書：テーマ別資料 公共 2024（とうほう）		

<b>グラデュエーション・ポリシー</b>	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①生涯にわたって自ら意欲的に学び続け、目標に向かって努力する態度を育成します。</p> <p>②互いの人権や考えを尊重し、命を大切にする心と行動力を育成します。</p> <p>③社会的・職業的自立に必要な勤労観や職業観を育成します。</p>
<b>カリキュラム・ポリシー</b>	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う～</p> <p>①多様な生徒の学習歴や興味・関心に合わせた科目選択ができる教育課程を編成します。</p> <p>②思考力・判断力・表現力の獲得を目指した、学びを充実させる丁寧な面接指導(スクーリング)を行います。</p> <p>③生徒が自学自習しやすい報告課題(レポート)を作成し、生徒の学びを深める丁寧な添削指導を行います。</p> <p>④放送視聴や平日校外スクーリングなど、通信制の特徴を活かした多様な学び方を促します。</p> <p>⑤コミュニケーション能力の伸長を図るため、生徒交流会や運動会、体験学習等の特別活動を行います。</p>

### 学習目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

- 現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体として活動するために必要となる情報を的確かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成を視野に入れて議論する力を身に付ける。
- よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的な空間に生き国民民主権を担う公民として、自国を愛し、平和と繁栄を図ることや各国民が協力する大切さについて自覚する。

### 学習内容

第1回レポート 「公共」のとびら 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己	前期試験範囲
第2回レポート 公共的な空間における人間としての在り方—共に生きるための倫理	
第3回レポート 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会 自立した主体として社会に参画する私たち 民主政治と私たち	
第4回レポート 民主政治と私たち 法の働きと私たち	後期試験範囲
第5回レポート 経済社会で生きる私たち	
第6回レポート 私たちの職業生活 国際社会のなかで生きる私たち 国際社会のなかで生きる私たち 持続可能な社会づくりに参画するために	

### 学習方法

《レポート》教科書と資料集の指定ページを確認すれば解答できます。設問をしっかりと読み、適切で正確な答えを記述するように心がけてください。「主体的に学習に取り組む態度」に関する設問については教科書のアプローチ・活用などのページやNHK 高校講座などを参考に解答してください。

《 授業 》 レポート内容に合わせたプリントを中心に授業を進めます。また、レポートのポイントや内容を深めたものも取り上げます。義務時数を満たしても積極的に参加してください。

《 試験 》 レポート内容を確認する問題を出題します。教科書・資料集・レポートの解答などを参考に、しっかり勉強してください。

評価の観点の趣旨		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、レポートを作成している。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理や事実を基に、多面的・多角的に考察、判断し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、レポートを作成している。	よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようと努力し、レポートを作成している。

評価方法		
各観点における評価方法は次のとおりです。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。
内容のまとめりごとに、各観点「A：十分に満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

担当者からの一言
公共的な空間や社会とはどのような社会なのか、その中で私たちはどのように生きていったらいいのか。以上のような視点を大切にして学習に取り組んでください。指定されたページ以外の資料集にも公共に関する課題を理解するのに大いに役立ちますので参考にしてください。